

NPO法人 共に歩む市民の会 会報

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第28号

☎ 241-0022

横浜市旭区鶴ヶ峰 2-1-16

☎ 045 - 953 - 6727

2010年3月31日 発行



最近感じたこと

葦の会理事 小田 敏子

政権が変わって半年余りがたつ。私たちの生活に何か変化が起きただろうか。たしかに高校授業料無償化や子ども手当などニュースになるようなものはあった。しかし、それも総理大臣や与党幹事長の「お金」にまつわる疑惑の報道の中では少し色あせて感じる。

私たち「共に歩む市民の会」に大きな関わりのある「障害者自立支援法」を政権与党は廃止とうたっているが、どのような形になるかはまだ光が見えない。ただ、障害者自立支援法の中で一番問題とされてきた利用者自己負担金の軽減が現実となったことはうれしい。

地域活動支援センター（旧作業所）は22年度より実に10数年ぶりの補助金 up（5%）でやっと一息だが、生活支援センター（ほっとぽっと）は減額という状況の中で運営することになりそうだ。

そんなこんなでとても悲観的な文章になってしまいましたが、22年度は「共に歩む市民の会」の財務担当理事として、微力ながら関わらせていただく小田です。よろしく。



第11回旭区精神保健福祉セミナー

第11回 旭区精神保健福祉セミナーを振り返って

旭福祉保健センター 明石 和宏

今年度の旭区精神保健福祉セミナーは、実行委員会・世話人会での話し合いを重ね、例年通り、とても充実したものになりました。

「自立」をテーマに、当事者・家族からの体験発表、田園調布学園大学の伊東秀幸先生による講演、パネルディスカッションと、会場は大変熱をおびたものになりましたし、また休憩時間の旭区関係機関による出店は、かなりのにぎわいになりました。今年度はじめて行った相談コーナーにも、たくさんの相談が寄せられました。

1日を通じて感じたことは、お越しいただいた皆さんが、セミナーの「参加者」であってくださったということです。「自立って何だろう」という問いに、当事者・家族・関係者がそれぞれ自らに問いかけ、互いがアドバイスをするという、とてもあたたかいセミナーになったのではないかと思います。

今年度の旭区精神保健福祉セミナーには、450名をこえる方にお越しいただきました。ご協力いただいた皆さまには、あらためて深くお礼申し上げます。また来年度以降も皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



第11回 精神保健福祉セミナーに参加して

旭区精神障害者家族会 あげぼの会
会長 志沢 希久子

実行委員会で話し合い、どこにもつながっていない人、家族がセミナーを聞いて具体的に知りたいと思った時に相談できるように「相談コーナー」をつくりました。当日は、①当事者＝ほっとぼっとピアスタッフ、②家族・一般＝あげぼの会が担当しました。まず、受付票で入り口相談、内容によっては相談者に別途予約してもらうなど、きめ細かな配慮をしました。

あげぼの会は5名で担当。関係機関のチラシ・パンフレットも準備して昼休み、休憩、終了後の各30分間に緊張して相談を受けました。①当事者は、ほっとぼっとピアスタッフが担当、神奈川区から1名の相談があり、地域の生活支援センターの情報を渡しました。

家族・一般には6名の方が相談に訪れ、海老名など旭区外が4名、家族会への参加希望者は2名ありました。また、いくつもの障害をもつ当事者を抱えた家族の方は、障害に応じた家族会の情報を希望しましたので、MSWの協力で詳しい情報を手渡すことができ、相談者には心強かったと思います。

相談者の相談内容は、ポイントをつかみ、対応することが必要でとても勉強になりました。相談コーナーは今後も重要です。一人でも多くの人が必要な情報や支援、仲間との出会い、心の安定を得るきっかけになればと願っています。



感想文

神奈川病院デイケアイースト 正田 治雄

「第11回旭区精神保健福祉セミナー」の自立についての体験発表の感想です。どうして自分が「自立出来るまで」を体験発表する気になったのか、ですが、事の始まりは、神奈川病院デイケアイーストで、セミナーの実行委員をしている方から、セミナーで、自分が自立出来るまでを体験発表をしてみませんか？と声をかけられました。

その時は迷っていましたが、私も色々と考えて、私の悩み事が、ここ数年のうちに氷が解けるようにだんだんと、消えていきました。そして今なら、自分は色々な方々の支援を受けながら自立出来ているだろうなあと考えられるようになっていました。そこで実行委員の方に体験発表をしても良いですよと返事をし、発表の原稿を作り、実行委員さんに早速手渡ししました。発表者は、抽選で選ばれると言われましたが、結局私が発表をする事になりました。

セミナーの当日は、原稿が出来ているので、それを読み上げる事で心配はありませんでした。午後に行う、シンポジウムについても5分位の原稿を作り読み上げました。体験発表時の雰囲気ですが、私は耳が遠く、目もあまり良くないので、自分の世界に入り込んで、あまり周囲の様子が良くわかりませんでした。シンポジウムの終わりの私の一言は、自分が前向きに生きて行けば、必ず誰かが助けてくれる人が大勢いますとお話しました。

PM4時から6時まで実行委員の交流会がありました。そこで家族会の方から話かけられました。私は、自分をさらけだせば、誰かが必ず助けてくれます。とお答えしました。自分をさらけだす事は中々難しいとは思いますが、回りの人々はその雰囲気作りをお手伝いしてあげられればいいなあと私は思います。

交流会には、50名以上の実行委員さんが出席されていました。その席で、アンケート結果が発表され、ご来場数は460数名と沢山の皆様がお見えになり、今回が一番多かったそうです。私は大勢のお客さんと大勢の実行委員さんのお陰で体験発表が出来た事を大変に嬉しく思いました。

それと、私が入院した港北病院の看護部長さんには、原稿を添えて、旭区公会堂で、「自分が自立出来るまで」を体験発表しますと手紙を出しました。そして、体験発表が終って、ホールの外にいたら、看護部長さんが目の前に来られて私はびっくりして、嬉しくなりました。約6年振りの再会で硬く手を握ってくれました。かなりなお年ですが、今も現役で看護部長さんが続けられているそうです。そして、まさに生涯現役の看護部長さんからも、これから生きて行く元気を頂きました。

第11回 精神保健福祉セミナーアンケートについて (お知らせ)

123名の方たちからアンケートが寄せられました。ご協力ありがとうございました。

(内訳：当事者 39 家族 26 一般市民 19 職員 13 関係者 6 ボランティア 4 無記入 14 学生 2) 4月はじめに集計結果が判明します。関心のある方は、実行委員(会)に照会ください。



会員紹介



今年で9年目を迎えた『共に歩む市民の会』ですが、現在約100名もの方々がこの会の活動に賛同し、会員となってくださっています。そんな会員の皆様の素顔をちょっとずつご紹介していきたいと思っております♪

第11回目は、1年前から市民の会の仲間入りをされた ひさき さとみ さんです。

No.17 ひさき ひとみ さん

約2年前、ほっとたつ花亭コンサートに行き、こんなほっこり暖かい場で活動できたら、いいなあ、と、そこにいらした川田さんにお話したのがきっかけでした。語りや朗読をしている私は、そのコンサートで朗読に音をつける活動をしてる方と知り合い、一緒にできるといいですね、とも話していました。

やがて、川田さんから、「”街の中の小さな文化館づくり” へのお誘い」が届きました。そうして、利用者の方、スタッフ、ボランティア、等が集まり、ほっとほっと別館での自主企画が始まったのです。

ミーティングは終始暖かい雰囲気、みんな人の話をきく耳をもっている。とっても正直。本音で語る。がんばらなくてもいい。助け合っていこう、という土台がある。立場は違えど、それがマイナスになることはなく、自然に一緒に何かを創っていける。「生まれる」のです。「なにか」が！感動や、発見を、いつも沢山もらっています。



◆ 会員の方へ 会費納入のお願い ◆

21年度の会費をまだ納めていない方は下記へお振込くださるようお願い致します。

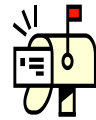
郵便振替口座番号 00280-6-132476

加入者名 特定非営利活動法人 共に歩む市民の会





ボランティアさん



『共に歩む市民の会』のボランティアの日頃の思いをつづるリレートーク。
 前回のSさんからバトンを手渡されたのは・・・
 第12回はとんぼ屋の長谷川 正幸さんです。

ボランティアって、なんだろう?とさえつつ、【ほっとぽっと】の中で私ができる事は何だろうか
 な?と考えながら、心温かいスタッフの皆さんとの語らいの中で草むしり作業などはできるので、
 日々を見て行動を起こした。その後、人との出会いができていく中で、とんぼ屋の旗揚げが平成19
 年9月吉日に結成され、担当チーム数名の仲間で活動開始。

最初の練習場として、ほっとぽっと別館の中庭には自然の苑があり、小鳥のさえずる声や梅の花、
 バラの花、アジサイの花、南天の実、どんぐりの実などの四季の香りが一面に漂ってきます。この様
 な風情のある庭ですから、人の心も癒されて仲間との繋がりもできて、草取り作業もはかどり、休憩
 には皆でお茶を飲んだりおせんべいをかじりながら語り合ったりし、悩みも打ち明けあったり、作業
 の仕方や指導を受けて協力協調をもって楽しんでいる元気で愉快なおとぼけもある素晴らしい仲間
 たちですよ。ボランティアかな?

木の剪定をしていただけるボランティアの人、仲間に参加して下さる方を大歓迎します。

とんぼ屋族(ボランティア見習い=長谷川 正幸)

市民の会・ほっとぽっと



スケジュール '10. 4月~

* 『第8回 ふれあい月の市』

◇5月 15日(土) 11時~15時 ほっとぽっと別館(+庭) 雨天実施

手作り小物、衣類、野菜、パン、本、リサイクル品・・・掘り出し物を見つけて☆喫茶でゆっくり



地元の方に私たちのことを知ってもらおうきっかけになっています。

◇参加・協力団体=あけぼの会、木々の会(木楽舎含む)、葦の会、百屋、ほっとぽっと

今後の予定・・・◎第9回 7月31日(土) ◎第10回 23年1月29日(土)を予定・・・

2周年を迎えた!月の市レポート

2/6当日は寒い一日でした。それでも開場前から10人近い地域の方が並んで待っていてくれました。
 木楽舎メンバーの1君の心のこもった開会あいさつでスタート。別館内には人があふれにぎわい
 ました。また、午後の「2周年記念 大抽選会」には30名以上の方が参加され、番号が呼ばれる度
 に一喜一憂の声があがり、盛り上がりました。今後も皆でいろいろと工夫しつつ楽しくやっていき
 たいと思います。〈職員・岡田〉

* 『共に歩む市民の会 定期総会』 6月26日(土) 午後

場所・時間等の詳細は後日お知らせします。ぜひぜひ日程を空けておいてくださるよう
 お願いいたします。



★ 理事会報告

(第25回) 3月9日(火) 18:30～

〈出席理事〉9名(委任状1含む) (欠席2)

〈審議事項〉概要は下記のとおりです。

- ☆22年度事業計画・予算を検討し、ほっとぽっと運営事業について事務局長案を了承しました。
- ☆ほっとぽっとの決算支出について検討した結果、内容を明示する必要があり小田理事が関わることとなりました。又、法人の事業計画・予算案作成にあたる担当理事を決めました。
- ☆この他、横浜市監査報告、「ほっとぽっと運営管理規定」の一部改定、講師謝礼の配分方法、3/27研修会、等についての検討がされました。

～次回理事会は5月20日(木)夜に開催予定～



◆◇◆ 新規入会 (2009/8/1 ~2010/3/10) ◇◆◇どうぞよろしく! ◆◇◆ 敬称略

*正会員 = 福島政子 小原至貴 提箸はるか・・・(3名)

*賛助会員 = 阿藤純子 滝沢幹子 中村晴美 中山 強 安村壽太郎 山口武彦・・・(6名)

編集後記



❁バンクーバー五輪のフィギュアスケート。日本女子選手の活躍には大拍手です。しかし、母親の急逝にもかかわらず、悲しみと戦って銅メダルを手にしたロシェット選手には一層の感銘を受けました。・・・Matsumoto

❁年度初めの桜の季節になりました。村上春樹の新作を楽しみにしつつ、心機一転仕事に励みたいと思います。・・・森

❁先週の会員向け研修会で見たイタリア映画「やればできるさ」。111分間を飽きさせない迫力アリ！色々なことを考えさせてくれます。花冷えの日本に南国の風が吹き込むことを願いつつ。・・・川田

❁忙しくて忙しくてさ・・・ネコの手もイヌの手もゴリラの手も借りたい・・・年度末のワタシの代わりに編集後記を書いて・・・お願いだから・・・働き者の 松迫・F・あつこお

❁桜が芽吹いてきましたね。つい、編集にピンクをたくさん使ってしまいました。桜もいいけれど・・・はなみずきの香りに誘われて、夜の家路がちょっと遠回りになっている今日この頃です。・・・高木